

教材3 (4)

言葉の知識

年

組

番

名前

ステップ1

から、チャレンジしてみよう。

ステップ1

「言葉の単位」(意味や発音により分けられる言葉の「まとまり」)のことは5つある。次の(1)～(5)の言葉の単位についての説明をあとの語群ア～エから選び、記号で答えなさい。

(1) 「文章」

(2) 「段落」

(3) 「文」

(4) 「文節」

(5) 「単語」

語群

ア 言葉の意味を壊さないように、文節をさらに細かく分けたもの。それだけで使える言葉としては最小の単位。

イ 文章を内容によって分けたひとまとまり。

ウ 発音や意味のうえで不自然にならないように、できるだけ短く区切ったまとまり。

エ ひとまとまりの事柄や考えを表した、ひと続きの言葉。書き言葉では、文の終わりに句点。( )が付く。

オ 文が集まって、全体でまとまった内容を表したものの。

ステップ2

「文の成分」について、次の文章中( A )～( E )にあてはまる言葉をあとの語群ア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

文を組み立てる部分となるそれぞれの文節が果たす役割を「文の成分」といい、五種類ある。「誰が、何が」を表す( A )、文の終わりにあることが多く、「どうする・どんなだ・ある・いる・ない・何だ」を表す( B )、他の文節を詳しく述べる働きのある( C )、文と文、言葉をつなぐ働きのある( D )、文の中で、他の文節とは独立した働きのある( E )がある。

A

B

C

D

E

語群

ア 修飾語

イ 述語

ウ 独立語

エ 主語

オ 接続語

ステップ3

次の文節に分かれている文について、あとの問いに答えましょう。

私は バラの 花を 彼に あげた。

(1) 述語はどれですか。一文節で答えましょう。

(2) 主語はどれですか。一文節で答えましょう。

(3) 述語の文節を修飾している文節(修飾語)を二つ答えましょう。

ステップ4

次の各文を文節に分け、区切り目に「/」を書きましよう。また、主語の文節には――を、述語の文節には――を引きましよう。

(1) 暑くなってきたので、私は半そでに着がえた。

(2) 彼女は、今年の市大会で優勝したバスケットボール部の部長だ。

(3) この本の中には、世界中の昔話がたくさんある。

ステップ5

次の各文を単語に分け、区切り目に「/」を書きましよう。

(1) 山の上に白い家がある。

(2) ドアの向こうから、フルーツの美しい音色が聞こえる。

(3) 部屋の窓から、美しい山がはっきり見える。